

庶流入来院家 入来院久子さんへのインタビュー

学籍番号：2213045 2213057

名前：山口 茉紘 加藤 陽世里

■概要説明：鹿児島3大武家屋敷郡の1つである入来麓で、古い茅葺門を構える入来院家に実際住んでいる入来院久さんにインタビューをすることにした。

■目的："日本遺産"に認定された入来武家屋敷群の中心となる屋敷の庶流入来院家の歴史や、これまでの歩みを、入来院家長女の入来院久さんのインタビューを通して把握し、入来地区の個性や特徴、入来院さんにとって武家屋敷群がどのような存在なのか、考察することを目的とする。

■方法："ライフストーリー・インタビュー"と呼ばれる手法で行う。相手の内面に深く踏み込みこれまでのライフストーリー（これまでの人生や転機、これからの人生）を調査者と対象者の両者で作り上げていく。

■結果とまとめ：インタビューを行い、入来院さんは波乱万丈な人生を送っていることが分かった。入来院家の長女として背負うものがあつた中、子どもと触れ合うことや影絵など自分の好きを追求しながらこれまで歩んでこられた。亡き母の想いを守りたい、入来武家屋敷群をもっと広めたいと言う思いを大切にこれからの人生を進んでいかれるのだと考えた。（山口）

インタビューを行い、入来院さんが今まで様々な経験をして人生を歩んでいることが分かった。今まで、親しい人でもその人の幼少期から現在まで詳しく聞く機会というものはないので、とても有意義な経験となった。（加藤）



2023(R5)年度 プロジェクト演習

■概要説明・目的:

私たちは講義の一環で、「うさカフェりび」を経営する「東由美さん」にご協力いただきインタビューを行った。どうして鹿児島で数少ないうさぎカフェを始めようと思ったのか、そこへ至るまでの経緯や目的などに興味を持ち、お話を伺うことにした。

■方法:

まず、東さんにアポイントメントを取る。

次に、インタビューを実施するためうさカフェりびへ行き、録音の許可を頂いて録音をしながらインタビューを行う。(1時間程度) インタビューの内容を文字に書き起こし、編集してまとめる。

■結果とまとめ:

初めは、普通にうさぎを飼っていただけという東さんは飼っていたうさぎ「りびちゃん」を店長として、趣味のハンドメイドのお店を開業した。するとだんだん雑貨よりも、りびちゃん目当てのお客さんが増えたことにより、「うさぎさんメインのお店をやりたい！うさぎは可愛い生き物なんだよっていうのをもっと広めたい！」という気持ちが強くなり、うさぎカフェをオープンしたそう。最近では、教育施設で子どもたちがうさぎと触れ合う「出張ラビットセラピー」を行ったり、youtubeの動画でうさぎを紹介してみたりという取り組みも行っている。



うさぎカフェの入口



2代目 チロル店長



うさぎマンション

■感想:

- ・今回、東さんのお話を聞くことが出来、自分の視野が広がったように思う。珍しい話も聞くことも出来て、今まであまり目を向けることのなかった方向へも興味を持つことも出来た。とても貴重なお話を聞くことが出来て、有意義な経験だった。
- ・うさぎへの愛が溢れ伝わってきた。お客さんにより喜んでもらえるように様々な工夫をされており、このような憩いの場がもっといろいろな人に知ってもらいたいと思った。

タイトル：冠嶽園で働く A さんのライフストーリー

福田杏奈 藤崎凌佳

1. 概要説明

この報告書は、鹿児島県いちき串木野市冠岳にある冠嶽園で働く、A さんへのインタビュー内容を簡潔にまとめたものである。

A さんは昭和 27 年生まれの 71 歳。現在は出身地の冠岳にある、冠嶽園にて園の管理をされている。冠嶽園とは鹿児島県いちき串木野市にある、中国との友好交流の願いを込められ 1992 年に作庭された中国風庭園である。紅葉シーズンは観光客が多く賑わう。そんな冠嶽園の管理を行っている A さんの仕事内容は、主に園の掃除や来園者へ冠嶽園・冠岳の歴史を説明することである。休園日以外の日おきに、9:00~17:00 まで出勤している。また休みの日の過ごし方としては、体調を崩す前までは畑と田んぼの草払いをしていたが、今は主に家でのにびりと過ごしている。

2. 目的

冠岳、冠嶽園で働いている A さんの人生についてのインタビュー

3. 方法

12 月 9 日にフィールドワークを実施。90 分のインタビューをした。

4. 結果とまとめ

生きてきた環境も経験も異なる年齢の方から、ライフストーリーを聞くのはとても面白かった。自然に相手を尊敬し、より深くその人のことを理解したいという気落ちを抱くことが出来た。今回のフィールドワークでは、自分とは違う生き方をしている人に、人生で経験してきたことを聴く感動や楽しさを実感することが出来た。

5. 文献

[冠岳小学校の閉校式でした。 - 鹿児島 冠岳温泉 | いちき串木野の日帰り温泉&サウナ \(kanmuridake-spa.com\)](https://kanmuridake-spa.com/) 2024 年 1 月 11 日 AM0:34

[冠嶽、伝説と由来 徐福伝説や山名の由来など - 鹿児島 冠岳温泉 | いちき串木野の日帰り温泉&サウナ \(kanmuridake-spa.com\)](https://kanmuridake-spa.com/) 2024 年 1 月 11 日 AM0:34

[中国風庭園冠嶽園 | いちき串木野市総合観光サイト | みなと色、ロマン旅。 いちき串木野市 \(ichiki-kushikino.com\)](https://ichiki-kushikino.com/) 2024 年 1 月 11 日 AM0:34

冠嶽園 (<https://map.yahoo.co.jp/v2/place/tZS-657YIrA>) 2024 年 1 月 11 日 AM0 : 34

タイトル：千本イチョウ園

2213017 坂元 文音

2213022 新福 里穂

■概要説明

私たちのプロジェクト演習の課題は、ライフストーリーインタビューを行うことである。そのインタビューの対象者を探している際に、垂水市を代表する名所「千本イチョウ園」は県や自治体を作り、管理しているのではなく、Aさんご夫妻が作り上げた私有地のイチョウ園だということを知った。そこで千本イチョウ園を作ったAさんのライフストーリーを詳しく探るため、インタビューを行った。

千本イチョウ園は初代鹿児島県景観大賞をはじめとし、さまざまな賞を受賞している。イチョウ園を作るきっかけは自分の理想郷として黄金の世界を作るためだったという。最初のご夫妻だけで作り上げたイチョウ園だったが、現在は年に一度草払いのボランティアが来てくれるため、Aさんは「今では地域の人と作るイチョウ園になっている」と語る。イチョウが見頃になる時期には地域の食堂も賑わい、現在、千本イチョウ園は地域活性化にも貢献している。

■目的

ライフストーリーインタビューとは、対象者にその人のライフストーリーを語ってもらい、現在の生活について考えを知るため、人生の転機を知るためなど特定の目的があってなされる。どのように話を聞くかという方法論が必要になるため、自らが好奇心を持って興味をそそられる対象を選定する。

このことから、私たちはご夫妻で千本イチョウ園を作ったAさんに関心を持ち、インタビューを行い、さらに、地域活性化についての学びを得ることを目的に研究を進めていった。

■結果とまとめ

私たちがAさんにインタビューを行い、特に印象的だったことは「千本ものイチョウを育てるにあたって大変だったことはない」と語っていたことだ。またAさんは、大変だと思っていたらやっていないし、辛いということは全く思っていないと語っていた。46年間自分の理想郷を作りたいと思い、イチョウを育ててきたAさん。黄色く染まったイチョウ並木が目の前に現れたときには、育てくれた感謝の気持ちと愛情を木に直接触れて伝えることができ、木の成長と共に自分も成長していると思え、涙が出てきたと語っていた。そして、今後は市民や来訪者の要望からイチョウの隣の土地を別のシーズンの理想郷にしたいと思い、現在取り掛かっていると語っていた。

私たちはAさんにライフストーリーインタビューを行うことで、どんなに時間がかかることでも諦めずに継続をすることで、人生の成功体験へと繋がるのだと勇気付けられた。Aさんのライフストーリーを聞くことで自分たちの人生について深く考えるきっかけをもらえ、私たちもAさんのように自分だけではなく、地域に貢献できるような取り組みを行っていきたく強く思った。